

石垣島 オスプレイ2回目

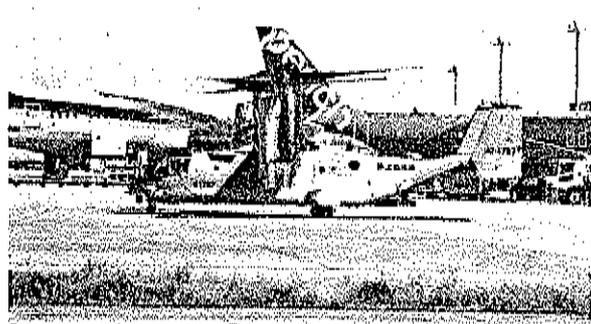
沖縄 市民抗議「島を戦場にすするな」



大規模日米共同訓練

新石垣空港に飛来するV22オスプレイに向けて、「オスプレイは来るな」「日米共同訓練反対」と声を上げる市民。24日、沖縄県石垣市

新石垣空港に飛来したV22オスプレイ。24日、沖縄県石垣市



陸上自衛隊と米海兵隊による最大規模の共同訓練「レンリユート・ドラゴン23」の一環で、陸自の垂直離着陸機V22オスプレイ1機が24日午前、沖縄県石垣市の新石垣空港に着陸しました。19日に続き2回目です。市民は「オスプレイは

石垣の空を飛ぶな」などと抗議しました。沖縄県はオスプレイの安全に懸念があるとして空港の使用自粛を求めています。防衛省は却下。負傷した隊員を搬送する想定で訓練を強行しました。空港西側のフェンス沿い

で機体が見えると、市民は「オスプレイがくることは戦争への道をつくるもの。後世に未来を届けるために絶対に反対する」と声を上げました。着陸時に地鳴りのような音を響かせる中、「島を戦場にすするな」などとコールしました。「石垣島に軍事基地をつくらせない市民連絡会」の上原秀政共同代表は「これが『新しい戦前』の始まりだ。沖縄戦と同じ間違いを繰り返すとしており、あきらめず反対していく」と強調しました。

同日、石垣駐屯地内の会場で、西部方面総監の山根寿一陸将はオスプレイに関し「さまざまな意見があるのは承知しているが、有益な装備だ。現地で運用でき、実効性が高まった」と強調しました。同訓練は対中国を想定。南西諸島の島々に多数の小部隊を展開し、中国艦船などを攻撃する「遠征前進基地作戦」(EABO)の具休化が目的。昨年まで北海道で行っていましたが、今年には九州、沖縄を中心に実施しています。

長射程ミサイル射撃準備も

報道公開

陸上自衛隊は24日、沖縄県石垣市の石垣駐屯地内で、大規模日米共同訓練「レンリユート・ドラゴン23」の実施に合わせて、「12式地对艦誘導弾」などの射撃準備をする訓練の様子を

報道公開しました。12式地对艦誘導弾をめぐっては、防衛省は射程を約1000キロに伸ばす能力向上型を2023年度から量産しており、敵基地攻撃兵器として活用を狙っています。公開したのは12式地对艦誘導弾と、地对空ミサイル

「03式中距離地对空誘導弾」を運び込み、発射の準備をする訓練。車両でミサイルを運搬した後、数人の隊員が小銃を持って降り、ジャッキを使って車両を固定。その後、積んでいた発射台を約1分かけて直立させました。